

問1 近畿地方において、鉄道による旅客輸送量が他の地方と比較して非常に多くなっている主な理由として、適切な説明はどれですか。 (2017年

山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 大阪を中心に複数の主要都市が密接しており、都市間を結ぶ鉄道網の発達と高い人口密度があるため。 | 2. 広大な平野部を活かした大規模な農業生産が行われ、農産物の市場輸送に鉄道が多用されているため。 | 3. 自動車の所有率が全国で最も高く、道路渋滞を避けるための代替手段として鉄道が特別に整備されたため。 | 4. 重化学工業の拠点が内陸部に集中しており、工業原料や製品の運搬に旅客列車が優先的に転用されているため。 |
|---|---|---|---|

問2 琵琶湖における赤潮の発生日数は、1970年代後半のピーク時と比較して、2000年代以降は数日程度にまで大幅に減少しました。この変化をもたらした主な社会的・制度的要因として最も適切なものはどれですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 滋賀県内における下水道普及率の上昇や、環境配慮型農業の推進 | 2. 琵琶湖の面積を拡大するための干拓事業の停止と自然保護区の指定 | 3. 高度経済成長期に建設された大規模ダムによる、湖水の流入量制限 | 4. 琵琶湖周辺における製造業の工場の全面撤退と、観光地化への転換 |
|----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|

問3 大阪府の農業において、米や果実の産出額よりも野菜の産出額が高くなっている主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年

大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 広大な土地を活かした大規模な機械化農業により、野菜の大量生産が可能だから | 2. 大消費地である大阪市などに近く、鮮度が求められる野菜を効率よく出荷できるため | 3. 気候が冷涼であり、夏場でも新鮮な高原野菜を生産するのに適しているため | 4. 平地が少なく傾斜地が多いため、稲作よりも野菜の段々畑が適しているため |
|---|---|---------------------------------------|---------------------------------------|

問4 近畿地方の府県を比較した統計において、二〇一九年の工業製品出荷額が突出して高く、二〇二二年の重要文化財指定件数も全国有数の規模である一方で、二〇一八年の住宅一戸建率が相対的に低くなっている県として、最も適切なものはどれか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 兵庫県 | 2. 和歌山県 | 3. 滋賀県 | 4. 奈良県 |
|--------|---------|--------|--------|

問5 志摩半島などの入り江で行われる真珠やタイの養殖業について、この場所が生産に適している地理的な理由として最も適切な説明はどれですか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 遠浅の干潟が広がっており、日光が海底まで届くことで水温が上昇しやすく、成長が早まるため | 2. 潮の流れが非常に速い場所であるため、海水の入れ替えが激しく、常に大量のプランクトンが供給されるため | 3. 入り組んだ地形が外海の激しい波や風を遮り、養殖用の筏 (いかだ) や生け簀を安定して管理できるため | 4. 大規模な大陸棚が広がっており、底引き網を用いた漁法と組み合わせで効率的に生産できるため |
|--|--|--|--|

問6 ある都道府県の産業について述べた次の記述のうち、三重県の特徴として最も適切なものはどれですか。なお、この県は近畿地方に属し、古くから独自の地形を活かした産業が発展してきました。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 平坦な平野部での米作りと、潮位の差が大きい有明海でのノリの養殖が盛んであり、農業と水産業がバランスよく発展している。 | 2. 温暖な気候を利用したサトウキビやパイナップルの栽培が盛んであり、近年では電照菊などの商品作物の生産も増えている。 | 3. 農業生産額のうち米が約3割を占め、茶の生産量も全国上位である。水産業では、複雑に入り組んだ海岸地形を活かして真珠の養殖が盛んに行われている。 | 4. 広大な大地を活かした大規模な酪農や畑作が中心であり、ジャガイモや乳製品の生産量が全国第1位である。 |
|---|---|---|--|

問7 京都市では、歴史的な景観を保全しながら都市の活力を維持するため、地域ごとに建物の高さの上限を定める「新景観政策」を導入しています。この制度において、歴史的な建造物が多く残る「保全区域」や、都市の再生を図る「再生区域」など、区域によって最高限度を細かく設定している主な目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2015年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 市全域で一律の高さ制限を設けることで、建築コストを抑え住民の負担を軽減するため | 2. 工業化を優先させるために、住宅地以外の区域では高さ制限をすべて撤廃するため | 3. すべての区域で高層ビルの建設を促進し、周辺都市よりも人口密度を高めるため | 4. 市内のどの場所からも山並みが見えるようにし、歴史的建造物と調和した景観を維持するため |
|--|--|---|---|

問8 大阪市などが位置する地域では、季節風が周囲の山地によって遮られる地形的要因により、年間を通じて温暖で降水量が少なく、夏には「大阪の蒸し暑さ」と表現されるほどの高温になります。このような特徴を持つ気候区分として最も適切な名称はどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 日本海側の気候 | 2. 瀬戸内式の気候 | 3. 中央高地の気候 | 4. 太平洋側の気候 |
|------------|------------|------------|------------|

問9 上空から撮影した写真において、海の上に浮かぶ島に滑走路が設置されており、その海岸線が人工的な直線状になっている空港があります。この空港の立地に関する説明として、正しいものを選びなさい。 (2017年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--|
| 1. 海岸近くの浅瀬を干拓して農地にした後、空港として転用した土地である | 2. もともとあった自然の島を、滑走路を建設するために拡張した土地である | 3. 大規模な地震によって海底が隆起してできた土地を利用して建設された | 4. 周辺の海を埋め立てて造られた人工島であり、計画的に開発された土地である |
|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--|

問10 1896年に滋賀県で発生した記録的な豪雨による大水害について、その被害状況を説明した記述として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 大阪湾からの逆流を防ぐために水門を閉鎖した結果、琵琶湖の出口が完全になくなり、京都市内が長期間冠水した。 | 2. 琵琶湖の水位が記録的に上昇したことで、下阪本村の全戸にあたる700戸が浸水するなど、周辺の地域に甚大な被害をもたらした。 | 3. 湖の干拓事業が進んでいたため、雨水を貯める機能が低下しており、短時間の雨で急激に水位が上昇して農地に塩害をもたらした。 | 4. 湖の周辺に設置されていた堤防が日本海側からの高潮によって決壊し、滋賀県北部を中心に家屋の流出が相次いだ。 |
|---|---|--|---|

問11 歴史的な景観を保護する取り組みが進んでいる地域において、実際に導入されている具体的な景観対策として正しいものはどれですか。 (2020年

佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 夜間の視認性を高めるため、すべての看板に原色のネオンサインを使用させる | 2. コンビニエンスストアなどの看板の色を、周囲に馴染む落ち着いた茶色や白に変更する | 3. 効率的な物流を実現するため、古い街並みを解体して道幅の広い直線道路を整備する | 4. 観光客の利便性を高めるため、寺社の境内に近代的な大型ショッピングモールを併設する |
|--|--|---|---|